

レーザー安全を 次のステージへ

現場のレーザー管理区域の設定、
日々の安全確認に



LASERSIGHT™

近赤外線レーザーの散乱光の危険性を可視化する
ポータブルレーザー検知器

測定対象波長 1030-1080nm

Model: **YSL-01** **NEW**
特許出願中



不可視光線であるファイバー・YAGレーザー光(波長 1030-1080nm)の散乱光や反射光を検知
管理区域外へのレーザー光の漏れを把握でき、作業員や周囲の安全をサポートします

使用用途

- ・作業前の安全確認や日常的な自主点検に
- ・ワークや材料、加工条件の変更時の反射光や散乱光の状態を確認し、適切な管理区域の設定のサポートに
- ・レーザー機器管理者の点検補助として、日常の安全管理や作業環境の改善に

注意事項

※当製品は日常的な点検、危険状態の可視化を支援する機器です。安全装置の代替品ではありません。

測定結果は目安として使用し、必要に応じて定量的測定や複合的な確認を推奨します。

レーザー作業時は必ずレーザー保護メガネの着用、および周辺作業員への注意喚起も必要に応じて考慮する必要があります。

安全をつくる 快適でささえる

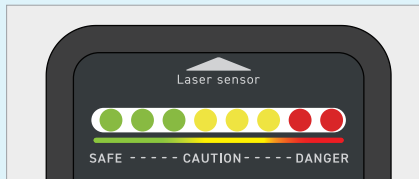
Comfortable safety

山本光学株式会社
セフティ＆レーザー・オプト事業部

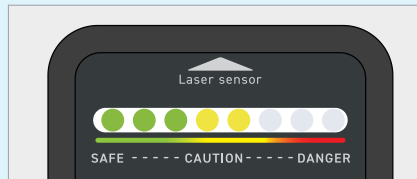
YSL-01



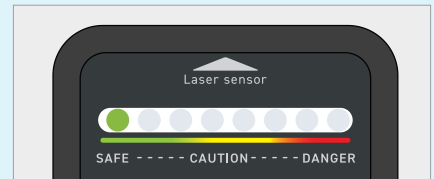
本体に搭載されたセンサー(受光部)がレーザー光を感知し、JIS C6802の最大許容露光量(MPE)^(※1)を基準として、人の目に対する危険性を判定します^(※2)。



赤:レーザー照射作業で発生する散乱光がMPE(最大許容露光量)を超えている可能性があり**危険**



黄:レーザー照射作業で発生する散乱光がMPE(最大許容露光量)は下回っているが、明確な散乱光があるため**注意が必要**



青:レーザー照射作業で発生する散乱光の検出がない、または微弱のため**安全**

※1 最大許容露光量,MPE(maximum permissible exposure) :通常の環境下で、人体に照射しても有害な影響を与えることがないレーザー放射のレベル

※2 日本産業規格 JIS C6802:2025 付属書A 表A.1に基づき算出

各ボタンと操作方法

漏れ光測定を行う際は必ず適切な保護具を着用し、2名以上で安全に作業を行ってください

受光部

測定時は測定したい箇所に
向けてください

インジケータ

センサーがレーザー光を感知し
8段階で表示します

電源ボタン

消し忘れ防止10分OFFタイマー
機能付



リセットボタン

測定に影響する光量を除去する
ため、測定前に使用します

YSL-01 仕様

測定対象波長

1030-1080nm

電源

単三形アルカリ乾電池二本(別売)

連続使用時間

約8時間(消し忘れ防止:10分OFFタイマー)

使用環境範囲

屋内(0~40℃)

外形寸法

W69×H115×D28mm

本体質量

約120g(乾電池除く)

ぼくの紹介ページ
見てね♪



レーザーサイトシリーズ YAMAMOTO公式キャラクター
レーザーサイトくん

